

浜松で園児体験会

浜松市が連携を進めるインドで国民的な人気を集める球技「クリケット」の体験会が浜松市浜名区都田町の愛管であった。近くのれんりの子保育園の園児19人が参加し、同国の文化に触れながら1時間ほど体を動かした。

(小林颯平)

クリケット むちゅー！

打った！

走った！

できた！

クリケットは野球に似た英国発祥のスポーツ。攻守に分かれて、バットでボールを打ち、総得点を競う。2028年のロサンゼルス夏季五輪の公式種目に決まっている。

インドは、今年の国際大会で優勝した強豪国でもある。クリケットを通じて、インドの文化に親しんでもらおうと、スポーツクラブなどを運営する「グローア

ツプアカデミー」（中央区三方原町）が初めて体験会を開いた。日本クリケッ

出身のビネイ・クマールさん(54)らが講師を務めた。子どもたちはベアに分か

て受け止め、「できた！」と笑顔を見せた。バッティングの練習では、プラスチック製のバットを握って、カラーコーンに置いたボールを目掛けて思いっきり振り抜いた。試合形式のミニゲームにも挑戦。攻守に分かれ、歓声を上げながら遠くへ転がるボールを追いかけた。

クリケットで汗を流した後は、クマールさんへの質問タイムに。「インドは暑いですか？ 氷はありますか？」「ありがとうございます」と次々と疑問を投げかけ、同国の文化や気候について学んだ。

園児の山下ひかりちゃん(5)は「クリケットは初めてで、打つのは難しかったけど、楽しかった。またやってみたい」と笑顔だった。

グローアツプアカデミーは、今後も市内の小中学校などでクリケットの体験会を開くという。代表理事の島沢翔哉さん(30)は「子どもたちが想像以上に楽しんでくれて良かった。これから浜松にたくさんインド人が来られると思う。スポーツやクリケットが交流のきっかけになれば」と話した。



①思いっきりバットを振り抜く園児 ②ボールを目掛けて走る子どもたち ③笑顔でキャッチボールをする子どもたち ④いずれも浜松市浜名区都田町の愛管で